

受講者アンケート集計（他大学・他学部）

演習科目：高冷地植物生産生態学演習

担当教員：濱野光市 他

実 習 日：平成 26 年 8 月 6 日（水）～8 月 9 日（土）

受講人数： 3 名（他学部：経済学部 1 名、他大学：お茶の水女子大学大学院 2 名）

1. 演習の満足度について

|      |     |     |     |       |
|------|-----|-----|-----|-------|
| 大変満足 | 満足  | 普通  | 不満  | 大いに不満 |
| 2 名  | 1 名 | 0 名 | 0 名 | 0 名   |

【理由・感想】

- ・高原野菜の収穫・出荷や牛の乳しぼりや、バターづくり、ソバづくり、自然観察など今まで体験したことがなく、とても新鮮で、今後活かすことができる知識を得ることができました。
- ・一生に一度しかできないであろう、非常に貴重な体験をたくさんさせて頂き、有意義な実習となりました。農学部の学生さん方との交流も楽しく、どれも新鮮な体験ばかりで、「参加させて頂いてよかった」と思える演習となりました。先生方にも多々ご配慮頂き、良い実習となりました。ありがとうございました。
- ・本当に充実した 4 日間でした、普段何気なく目にしている食品をめぐる食環境について体験を通じて学ぶことが出来ました。

2. 参加した演習で、特に有意義だった、興味・関心が増大した、楽しかった演習（内容）を記述下さい。

1) 有意義だった演習

|           |     |
|-----------|-----|
| キャベツの収穫   | 1 名 |
| J A 施設の見学 | 1 名 |
| キャベツの出荷   | 1 名 |
| そば打ち      | 1 名 |
| 農家見学      | 1 名 |

2) 興味関心が増大した演習

|             |     |
|-------------|-----|
| クローン牛の試食    | 1 名 |
| 高冷地野菜の収穫・管理 | 1 名 |
| キャベツの収穫     | 1 名 |
| クローン牛の講義    | 1 名 |
| 軽登山         | 1 名 |
| キャベツの講義     | 1 名 |

3) 楽しかった演習

|            |     |
|------------|-----|
| 牧場体験       | 2 名 |
| 軽登山        | 1 名 |
| 夕食作り       | 1 名 |
| 野生生物の調査・観察 | 1 名 |

【理由・感想】

- ・実際に自分が働いて、野菜農家や酪農農家の仕事を体験したことで、農家の方の苦勞がよくわかり、また仕事を達成したとき、達成感が嬉しかったから。
- ・「野辺山」という土地での他とは異なる農業体系、高冷地ならではの生産形式など、初めて学ぶことばかりで、驚き、また農業に対する視点が変わるきっかけとなりました。
- ・普段はできない収穫体験や牧場での体験、私たちが普段口にしているものの裏側、ルーツが少しでも垣間見ることができ、大変貴重な体験となりました。

- ・今までは食品を調理・加工することが中心で、その食品が自分の手本にいたるまでの経緯についてはほとんど知らずにいました。そのため、野菜一つ一つを生産し出荷・流通させていくことの大変さと有難さを心の底から実感しました。

3. 演習参加後、食料、農業、環境、高冷地、野菜、家畜等について、興味・関心が増大したことはありますか。

|    |    |
|----|----|
| ある | ない |
| 3名 | 0名 |

1) 増大したこと

|          |    |
|----------|----|
| 流通       | 2名 |
| 農業       | 1名 |
| 高冷地      | 1名 |
| 食料       | 1名 |
| 食事に関すること | 1名 |
| 食料全般の生産  | 1名 |

【理由・感想】

- ・今回の演習では、班ごとに朝・昼・夜食などを出しましたが、どうやったら大人数の人に喜ばれて食べられるか、どの班もよく考えてくれており、とてもおいしく食べれました。私も今回出された食事を作りたいと強く思いました。
- ・今までは机上で学習した“事柄”でしかなかった農業の生産・流通を“現実”として実感することができ、今まで講義で学んだ内容をより現実味を帯びたものとして理解することができたような気がします。
- ・農業にあまり縁がなかったのですが、これからは積極的に農業に関わっていこうと思えるような実習でした。
- ・自身が「食育」に近い所にあることもあり、「バランスの良い食生活」といった内容以前に、そもそもなぜ自分たちが不便なく食品を手に入れられるかといったことも、しっかりと勉強していきたいと思いました。

4. 参加した演習の内容、指導等について要望、改善点がありましたら記述下さい。

5. フィールド、施設、設備について要望、改善点がありましたら記述下さい。

- ・他学部や他大学の学生に、もっと詳細に持ち物を伝えてほしかった。学務から伝えられたメールには、持ち物にカップが書かれていませんでした。
- ・どのような設備があり、どのようなものは自分で用意する必要があるのかといった情報をあらかじめ知ることが出来ればより準備がしやすいと感じました。

## 受講者アンケート集計（農学部）

演習科目：高冷地植物生産生態学演習

担当教員：濱野光市 他

実 習 日：平成 26 年 8 月 6 日（水）～8 月 9 日（土）

受講人数： 36 名

（食料生産科学科 24 名、森林科学科 10 名、応用生命科学科 1 名、インターンシップ 1 名）

### 1. 演習の満足度について

| 大変満足 | 満足   | 普通  | 不満  | 大いに不満 |
|------|------|-----|-----|-------|
| 16 名 | 20 名 | 0 名 | 0 名 | 0 名   |

#### 【理由・感想】

- ・キャベツの収穫から出荷、管理まで体験することができたため。
- ・普段、応生の授業ではできないことができ刺激的だった。
- ・キャベツの収穫など普段できないような体験をすることができた。
- ・普段の実習では体験できないようなこと（野菜の貯蔵施設の見学など）が体験できたから。
- ・軽登山も楽しかった。
- ・設備も整っていて、おいしいご飯も食べて充実した 3 日間だったから。
- ・普段近くで見れない牛の食事や乳しぼりができたから。
- ・ごはんが毎回たのしかったし、おいしかったです。
- ・山に登るのもひさしぶりでこんなにたくさんの人とのぼったのも小学校以来のような気がするのだった。
- ・早朝から農作業はとても大変だった。
- ・ご飯作りも楽しくでき、作業も貴重な体験できてよかった。
- ・キャベツだけではなく、幅広い分野・品種の野菜を扱い、知識を定着させることができた。
- ・地域の生産から出荷までの流れを見れたから。
- ・大産地の出荷システムを学ぶことができた。
- ・ご飯も皆で協力して作ってとてもおいしかったし、講義や実習の内容もとても充実していて過ごしていて楽しかった。
- ・森林学科では学べない実践だったので興味がつきなかった。
- ・キャベツの収穫、バター作りなど森林学科では出来ない経験ができ、新鮮で楽しかったです。
- ・普段関わりのない食生に友達が増えて嬉しかったです。
- ・普段の生活では体験することが出来ないことをすることが出来たから。今までにすることがない体験が出来て、とても良かった。
- ・レタス農家見学、キャベツ収穫といった高冷地農業や牧場見学、そば打ちといった普段できない様々なことを体験でき、とても満足。
- ・共同生活を通し、他学科との交流を計る、有意義な実習だった。
- ・普段の生活で体験できないことが十分に学ぶことができたから。
- ・朝早くから動いて農家さんの生活を少しは体験できたのではと思う。農業というのは大変だけど、それ以上に達成感の強さを感じた。
- ・高冷地特有の栽培について知ることができたため。
- ・今までにやったことのない体験をすることができたから。
- ・予定の変更や天候不良のため、予定通りに送れないこともあったが、自分にとって非常に有意義なものであったため。
- ・普段来れない野辺山での生活は楽しかった。
- ・大規模で集約的な農業を目の当たりにすることができ、いい経験もできた。
- ・やることの半分ぐらいは初めてです。とても楽しかったです。
- ・様々な体験ができた。そばうちなどの普段できないことができたのがよかった。
- ・スケジュールがつまっていて、忙しさと疲れ、楽しさを感じ充実感があつたから。
- ・普通はできない乳しぼり体験やキャベツの出荷ができた。
- ・協力することで実習と自炊どちらも楽しく乗り切ることができた。
- ・演習の内容が濃く、多くのことを学習できたが、とてもハードだった。
- ・初めてやるような実習が多くあったので、貴重な体験ができたと感じた。

- ・設備やその他の料理など生活も楽しめて良かった。
- ・いろんな人と関わって充実した実習だった。受講して本当に良かった。
- ・この3日間に1回も満点の星空を見れなかったのが心残りだった。
- ・高冷地ならではの農業の仕方などが見たり、体験できたりして満足です。
- ・色々ハプニングもあったが、それを含め農業のたいへんさが楽しく学べた。
- ・特別何かしたわけではないが班長は大変だったが、自分に足りない能力を上げるいいチャンスになった。自信もついた。
- ・演習内容には満足したが、食費の少なさが気になったため。
- ・普段できない経験ができた3泊4日であった。
- ・大変でとても疲れたが楽しく有意義であった。
- ・普段の生活ではできない体験と4日間に渡って過ごせて良い経験になった。
- ・涼しいところで経験したことができた。
- ・朝が早いのが辛かった。
- ・色々なことをためしてみても大変良かったです。
- ・新鮮な野菜を食べさせたことに感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。
- ・キャベツの収穫を中心に野辺山の環境を知ることができた。
- ・満足しました。

2. 参加した演習で、特に有意義だった、興味・関心が増大した、楽しかった演習（内容）を記述下さい。

1) 有意義だった演習

|             |      |
|-------------|------|
| キャベツの収穫     | 20 名 |
| 軽登山         | 5 名  |
| バター作り       | 2 名  |
| 高冷地野菜・野菜の収穫 | 2 名  |
| キャベツの出荷     | 2 名  |
| 滝沢牧場        | 1 名  |
| 搾乳体験        | 1 名  |
| レタス農家       | 1 名  |
| J Aや農家さんのお話 | 1 名  |
| 全体的         | 1 名  |
| そば打ち        | 1 名  |
| 牛のえさやり      | 1 名  |
| 農家見学        | 1 名  |
| 班長          | 1 名  |
| レタスの見学      | 1 名  |
| キャベツの箱詰め    | 1 名  |

2) 興味関心が増大した演習

|                   |      |
|-------------------|------|
| キャベツの収穫           | 10 名 |
| J A集荷場見学（貯蔵施設の見学） | 5 名  |
| そば打ち              | 5 名  |
| 滝沢牧場見学            | 3 名  |
| キャベツの出荷           | 3 名  |
| バター作り             | 2 名  |
| クローン牛の試食          | 2 名  |
| 軽登山               | 2 名  |
| クローン牛             | 2 名  |
| わたなべ先生の講義         | 1 名  |
| 牛のえさやり            | 1 名  |
| 高冷地野菜の収穫          | 1 名  |
| 雑草取り              | 1 名  |
| J Aや農家さんのお話       | 1 名  |
| 農家の人の講演           | 1 名  |

|           |    |
|-----------|----|
| 搾乳体験      | 1名 |
| クローン牛の講義  | 1名 |
| 牛とのかかわり   | 1名 |
| 野生生物調査    | 1名 |
| 農家のスケジュール | 1名 |
| キャベツの箱詰め  | 1名 |

### 3) 楽しかった演習

|              |     |
|--------------|-----|
| そば打ち         | 11名 |
| バター作り        | 10名 |
| 軽登山          | 9名  |
| 滝沢牧場見学（牧場体験） | 6名  |
| 搾乳体験         | 4名  |
| キャベツの収穫      | 1名  |
| 牛のえさやり       | 1名  |
| 子牛とのたわむれ     | 1名  |
| キャベツの出荷      | 1名  |
| 酪農           | 1名  |
| 炊事           | 1名  |
| 乳牛           | 1名  |

#### 【理由・感想】

- ・今ではクローン牛の生産に歯止めがかかっている状況ですが、市場の安全に対する理解が深まればもっと普及するものだと思っているため。
- ・キャベツの収穫は初めてだったので、とても勉強になった。
- ・牧場の見学など、普段できないこと（植物コースだと普段やらないこと）ができたのですごく良かった。
- ・キャベツは、スーパーで並んでいる状態でしか普段見ないから。教科書で学んだことを実際に見ることができたから。
- ・初めて登山をしたから。
- ・普段体験できないことだから。
- ・大変だったけど、やりがいを感じたから。
- ・泥まみれになって働いたのだと感じた。
- ・動物が好きなのでふれあいができてよかったです。乳しぼりもはじめてだったのでたのしかったです。動物コースもむいてたのかなと思いました。
- ・キャベツの収穫はとても大変だった。
- ・クローン牛が食べれるという貴重な体験ができてよかった。クローンに興味を持てた。
- ・山登るのが好きなので楽しかった。天気も良くて、景色も良くて満足だった。
- ・キャベツをあれだけ大量に生産するためのノウハウが実際の演習を通して学べたから。
- ・キャベツの収穫・箱詰めはマスターできました。
- ・とても新鮮で楽しく演習をすることが出来ました。
- ・農業に対してすごく興味が湧いたし、大変さも実際にお話をきいたり体験することで分かりました。
- ・農家の人の生の声は本当によかった！この地域の人には自分の作物に誇りと自信を持っていて、私達は彼らにこんなにも支えられているんだと感動した。
- ・普段食べてるキャベツやレタスがこんなにも手をかけられて、大切に作られている事に感動しました。生産者の方が娘を出す気持ちで出荷している事をしって、もっと大切に食べたいと思いました。
- ・貴重な体験をさせてもらったから。
- ・キャベツをキレイに切るのは大変だった。また、サイズを見分けるのが難しくとても苦労したが、とても良い経験をした。
- ・そば打ちは、水の入れ具合、伸ばし方などとても奥が深かった。
- ・朝早くから収穫するという点では大変であったが、収穫して多くの人に食べていただけることを思うと収穫が有意義な時間だった。
- ・メインであるキャベツの収穫は初めての経験だったので非常に充実していた。

- ・色々な人と交流することができて良かった。
- ・全体的に初めての経験が多く、自分自身学ぶことが多く、一日一日が有意義であった。
- ・農業に携わる人達から色々な話を聞くことができ、今まで以上に関心が湧いた。
- ・ソバ打ちは初めて行った。自分で打ったそばはいつも店で食べるソバの味とは違い、おいしかった。
- ・J A見学ではプロの目と速い作業があった成り立つコールドチェーンの仕組みが分かった。
- ・3年生のとき、もし時間があいたらまた参加したいです。
- ・初めてウシにエサをやったり、乳しぼりができてたのしかった。
- ・初めて会う人とも、たくさん交流がとれていい経験になった。
- ・今まで体験したことのないものばかりで、農業というものを直接的に肌で感じる事ができた。農作物を管理・収穫する大変さを感じ、同時に農家の魅力も知ることができた。
- ・今まで祖父母の家での家庭菜園はしたことがあったが、大規模な畑で作業したのは初めてで、その大変さが分かった。
- ・収穫から段ボール箱に入れるまでの過程を見て、実際に行って、気をつかっていることなど分かりとても良かった。
- ・実際に体験することでより多くのことが体に染み付いた。
- ・農家の生活スタイルを知るとは有意義だと感じたから。
- ・山登りは景色がきれいだった。
- ・キャベツの収穫は初めて経験したし、出荷までにどのような注意や工夫があるか分かって良かった。
- ・牧場での体験やクローン牛の話など、牛に関する興味は少し増えた。
- ・登山は天気も良く、景色がきれいで楽しかった。
- ・班長を経験して良かった。
- ・山の登るのは楽しいものだ。
- ・みんな協力してくれたから、班長の役目が務まった。
- ・軽登山でもっと植物とかを知っているとさらに楽しくなると思った。
- ・箱積み担当だったが一人ではとてもたいへんだとわかった。さらに困っているとみんな助けてくれてスムーズに進行して、協力することを学んだ。
- ・（キャベツの収穫、クローン牛、乳牛について）いずれも普段なじみのないものだったのでとても興味深かった。
- ・植物関係だけではなく、様々な体験を得られ、有意義な時間をすごせた。
- ・キャベツの収穫は疲れたが、やった後の爽快感がよかった。
- ・クローン牛はおいしかった。
- ・実際に普段農家の方々がやっているキャベツの収穫から箱詰め、後処理など体験することで、大変さややりがいを感じることができ、すごく貴重なものとなった。
- ・森林の人が行っている登山を体験でき楽しかった。
- ・牧場での演習でふだんあまり関わる事のない動物コースのような体験ができ、動物分野からの食料生産について学べた。
- ・キャベツにも様々な品種があり形や味の違い、収穫～出荷までの大変さなど貴重な体験ができたように思う。
- ・登山は純粋にのぼりきったときの達成感がよかった。
- ・正直に言ってすべてが楽しくておもしろかったです。
- ・朝に早起きすることや雨などが大変だったが、それなりに演習をおもしろくさせたとはいえます。
- ・山へポケットガイドを持って学びながら、自然と触れ合ったことが良かった。
- ・満足しました。

3. 演習参加後、食料、農業、環境、高冷地、野菜、家畜等について、興味・関心が増大したことはありますか。

|      |     |     |
|------|-----|-----|
| ある   | ない  | 未回答 |
| 34 名 | 0 名 | 2 名 |

1) 増大したこと

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 農業                            | 9 名 |
| 家畜                            | 4 名 |
| 高冷地農業（高冷地農業様式）                | 4 名 |
| 高冷地での野菜（高冷地での野菜生産）            | 3 名 |
| 牛の生態・牛について                    | 2 名 |
| 高冷地の環境                        | 2 名 |
| クローン牛・牛肉について                  | 2 名 |
| 高冷地                           | 2 名 |
| 食料                            | 2 名 |
| キャベツの管理                       | 1 名 |
| 野菜                            | 1 名 |
| 地域の気候の特徴を利用して農業をすること          | 1 名 |
| 雑草の除去について                     | 1 名 |
| 地域の人との関わり                     | 1 名 |
| 酪農・耕作を営む人達                    | 1 名 |
| 花について                         | 1 名 |
| 農業を行う地域ごとの人口や育て方              | 1 名 |
| 出荷方法・収積所での流れ                  | 1 名 |
| 大変な労働をいかに効率よくするかなど、その場で工夫すること | 1 名 |
| キャベツについて                      | 1 名 |
| 農業の経営、くらしについて                 | 1 名 |
| そば打ち                          | 1 名 |
| 軽登山                           | 1 名 |

【理由・感想】

- ・収穫後のマルチはがしが大変でした。野辺山の農家さんは若い方が多いと農協の方がおっしゃっていましたが、高齢化を向えることはさけきれないです。いかにマルチはがしなどの重労働を省力化できるかが必要だと感じました。
- ・植物コースだと普段やらないことをすることができたため、とても勉強になった。今回でとても興味がわいた。
- ・自分は植物コースなので、ふだんの講義・実習で動物を扱うことがなく、その分、知らないこと、疑問に思ったことがたくさんあるから。
- ・マルチをはがす作業や箱入れなど、栽培以外にもやらなければならないことがいっぱいあるのだと知ったから。
- ・身近な食品と家畜とのつながりを改めて感じたから。
- ・牛にも階級のようなものがあって、えさを食べる順番が決まっていることにおどろきました。もっとしりたくなりました。
- ・キャベツの収穫から箱詰め、マルチをとるという作業まで、普段農家さんがやっているようなことができて、作物、野菜の育て方などに興味が増した。
- ・日本は四季があるし、地方によって気候等も違うので、それを利用した高冷地野菜の生産は理にかなっていると思った。
- ・雑草は、ただ栄養の競争を起こすだけではなく病気を引き起こす、呼び込むということを初めて知ったから。
- ・標高が変わるとこんなにも過ごしやすくなるのかと実感したから。
- ・高冷地での農業は他の地域と比べて違う点が多くあるだと知り、人々が野辺山の野菜に誇りを持っていることも分かりました。もう少しその辺を知りたいと思いました。
- ・彼らの生活・考えに興味がある。食は大切だと思うし、食べるのならもっと知らなければいけない。本当に普通の会社の普通の人より彼らは勉強を熱心に行い、充実しているので

はないだろうか。（一概とは言えないかもしれないが）

- ・最初はキャベツの収穫や草取りは疲れそうで、あまりやりたくありませんでした。しかし、実際やってみると、広大な畑の中で無心になってできて、すごく気持ちがよかったです。
- ・実際に試食をしてみたが、普通の肉と味に違いがなかったから。クローンについては人や国により意見が異なり、否定的な考えが多いが食べてみて私はむしろ好印象をもった。
- ・高冷地野菜であるレタス農家の見学などを通して、高冷地植物の特徴や栽培方法など多くのことを学ぶことができた。
- ・主にキャベツを収穫したが、それまでの過程（種植え〜）を体験したいと感じたから。
- ・クローン牛をはじめて食べて、羊のドリーから15年近くたってクローンに対しての考え方を少しずつ変えていかなければならないのかと感じたから。
- ・高冷地特有の農業のため、世帯数のわりに耕作面積が大きく、農業を行うのは大変だと思った。しかし、それに見合った収入と休暇（冬期）があるのは、サラリーマンより充実していると思った。
- ・野菜を収穫するのは、とても楽しかった。最初から育てれば愛情などがこもって良いと思った。自分でも作ってみたいと思った。
- ・この地域の人々の生活を知り、出荷場の内容などを見ることができ、自分たちが買い食べているうらで今回の見学で出会った人々の努力があると知ったため。
- ・野辺山周辺ではキャベツ、ハクサイ、レタスなどの野菜を大規模に育てているが、永続的なものなのかどうかということに少し疑問をもった。又、実際にレタス農家さんのところに行って話を聞いたところ、冬場に長期休暇がとれることに少し魅力を感じた。
- ・元々花が好きで登山を通じて知らない花がいっぱい知りました。とても嬉しいです。
- ・今まで授業で聞いていた内容を自分の目で確かめることができたし、農家さんの話を聞いて新しいことをたくさん知れたから。
- ・キャベツの収穫・出荷の際に、いかに効率よくキャベツを収穫・出荷するか（キャベツの置き方、箱づめの仕方、マルチのはがし方など）工夫されていて関心が持てた。
- ・この村では農業人口も低くはなっておらず、後継者もいた。そのような状況にない村などの様子を見てみたいと思った。
- ・出荷して温度を下げることなど今まで知らなかったのも、そのような仕組みを色々な野菜で見てみたいと思った。
- ・先生の行動や話から学ぶ点が多かった。
- ・大人数で様々な料理を作ったことで料理の楽しさを味わえたから。
- ・キャベツの食味試験ではわずだか品種によって味が違うことを認識できた。
- ・実際に農家さんを訪問して、野辺山の気候を活かしてどのような農業、生活をしているかが知れた。そして、実際にそのような農業の体験ができ、農家さんの大変さを知ることができた。
- ・キャベツも繊細なんだと知った。キャベツ作業は腰をかがめることが多く、栽培は大変だ。店で買うときには、もっと感謝せねば。
- ・寒い地方での農業について知ることもほとんどなかったので興味が増した。
- ・夜、自家から連絡がきて夜なのに30℃超えているという報告をうけたが、こちらでは15℃近くまで下がっていて、同じ日本でも大きく気候が異なっていて、そのおかげで様々な作物が生産できるということを肌で感じた。
- ・収穫したキャベツの一部が直接家畜の餌になっており、農業と家畜の飼育が直結しているのだと感じ、関心した。
- ・高冷地野菜がどう作られるかということなど、様々なことが分かった。また、料理を班ごとで作ることで、食事のありがたさがよく分かった。
- ・実際に農家の人々の大変さを知ることができたし、今回は大勢で協力してやったから乗り越えれた部分もあるけれど、これと農家のみなさんは7人数でやっているということで、特に雑草の防除などは大変だと感じた。しかし、実際に体験することでその喜びは大きいものだろうなと感じた。
- ・今回台風が近づいていたことや去年は直撃したなどと聞き、この時期に天候の影響で全部ダメになってしまったらその年の経営はどうなるのかなど気になった。
- ・この地域では品質低下の懸念から朝早くから働いているが、他の地域や他の葉もの野菜ではどうなのか。
- ・野辺山の生態や気候がモンゴルと似ていたため、ここの農業に対して関心が増大しました。
- ・ただ単に体を動かしながら知的欲求を探究できる作業で楽しかった。（そば打ち、山登り）
- ・満足しました。

4. 参加した演習の内容、指導等について要望、改善点がありましたら記述下さい。

- ・ソバ打ちは初めてで楽しかったです。でもせっかくなので、農学部などで栽培している何種類かのソバ粉で香りや味の違い、硬さの違いも比較できたらもっとよいと感じました。
- ・山登りの時にもっと植物や生き物の説明をしてほしかったです。
- ・休憩の取り方。いちいち食堂まで戻らなくても水筒にお茶を入れて倉庫近くで飲めばいいのでは？
- ・名札をつける。最初の1日だけでもいいので、服にガムテープとかで名前があつたら、早く打ちとけた気がする。
- ・もう少し農家見学などがあってもよいと思った。
- ・せめて7時起床にしてほしかった。
- ・トウモロコシの収穫もやってみたかった。
- ・キャベツだけでなく、レタスや他の高冷地作物も収穫してみたかった。
- ・雨降ったとき用の作業
- ・10時とか3時とかの休けいを普通に食堂でやってほしかった。
- ・キャベツ以外の収穫もしてみたかった。
- ・ある程度は仕方がないとはいえ雨の中の収穫作業は辛いものがあった。
- ・作業は作業でも身になる学べる実習（学問として）が良い。
- ・雑草拔きは確かに重要であり、農業の基本ではある。由に信大のフィールドを生徒が整備することは当然だが、それでも気持ちとしてはより学問的なことを体で学ぶ機会を増やしたかった。
- ・授業で既に習ったもの、以前の実習で習ったものが重複している部分が（食料生産科学科にとっては）多々あった。復習は大事だが、そうするときりがないので、新しいことをもっと学びたかった。
- ・そばの作り方についてより多く学びたい。
- ・実習内容ももう少し事前に知りたかった。
- ・軽登山は野生生物の観察となっていたので、もう少し教えてもらいたかった。

5. フィールド、施設、設備について要望、改善点がありましたら記述下さい。

- ・靴を洗うための場所のホースに穴があいていた。ふさいでおいて欲しい。
- ・洗濯機がきれいでした。たくさんあったのにびっくりしました。事前に洗濯機があると知りたかったです。…2名
- ・お風呂・食堂近くにトイレがあつてほしかったです。
- ・事前に野辺山ステーションの設備（洗濯機がある等）を教えてもらえると荷物も減っていたし楽だったと思う。
- ・卓球台はとても良かったので、ラケットとボールを増やして欲しいと思いました。
- ・トイレのハンドソープがなくなっていた。
- ・流し場の排水口がめんどくさい。細い鉄がないと取りはずしができず、掃除が大変だった。
- ・ティッシュがなくて困ったので、ティッシュない事を事前に伝えていただけると嬉しいです。
- ・ガスコンロの火が付きにくい点
- ・トイレやシャワーの設備がきれいでよかった。部屋に虫がでたことがいやだった。
- ・部屋（寝室）のハンガーに洗たくバサミのようなはさむものがあつたらいいなと思いました。
- ・布団があつすぎる（重い）
- ・部屋の害虫対策。
- ・部屋に蚊が出て夜大変でした。いっぱい血を吸われました。
- ・大浴場が欲しい。
- ・2階男子トイレへのそうじ道具の設置（ホウキ・チリトリ等）